

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【公表番号】特表2019-501108(P2019-501108A)

【公表日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2019-002

【出願番号】特願2018-501271(P2018-501271)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/17	(2006.01)
A 6 1 K	35/618	(2015.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/16	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	38/17
A 6 1 K	35/618
A 6 1 P	29/00
A 6 1 P	1/02
A 6 1 P	11/02
A 6 1 P	27/16
A 6 1 P	27/02
A 6 1 P	11/00
A 6 1 P	1/04
A 6 1 P	15/00
A 6 1 P	35/00
A 6 1 K	9/06
A 6 1 K	9/08
A 6 1 K	9/12

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月5日(2019.8.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

粘膜の炎症の治療のための組成物の製造における、活性成分としてのMAPの使用。

【請求項2】

前記MAPは、mefp-1、mefp-2、mefp-3、mefp-4、mefp-5、mefp-6、コラーゲンpre-COL-P、pre-COL-D、pre-COL-NG、ならびにイガイ足マトリックスタンパク質PTMP及びDTMPからなる群から選択されるサブタイプのうちの1つ以上を含む、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

前記MAPは、前記群mefp-1、mefp-2、mefp-3、mefp-4、mefp-5、及びmefp-6から選択される前記サブタイプのうちの1つ以上を含む、請求項2に記載の使用。

【請求項4】

前記MAPは、mefp-1を含む、請求項3に記載の使用。

【請求項5】

前記MAPの濃度は、0.1～15.0mg/mLである、請求項1～4のいずれか一項に記載の使用。

【請求項6】

前記組成物は、液体製剤、ゲル製剤、またはフォーム製剤である、請求項1～5のいずれか一項に記載の使用。

【請求項7】

最終生成物中のMAPは、pH1.0～7.0の範囲であり、特にpH3.0～6.5の範囲である、請求項1～6のいずれか一項に記載の使用。

【請求項8】

前記粘膜の炎症は、口腔粘膜炎、鼻炎、中耳炎、結膜炎、咽頭炎、喉頭炎、気管炎、食道炎、胃炎、小腸結腸炎、子宮頸管炎、子宮内膜炎、気道熱傷によって引き起こされる炎症等から選択される、請求項1～7のいずれか一項に記載のMAPの使用。

【請求項9】

前記MAPは、口腔粘膜炎、鼻炎、中耳炎、結膜炎、咽頭炎、喉頭炎、気管炎、食道炎、胃炎、小腸結腸炎、子宮頸管炎、子宮内膜炎等のうちの1つ以上によって引き起こされる、口腔癌、鼻咽頭癌、中耳癌、結膜癌、咽喉癌、気管癌、食道癌、胃癌、腸癌、子宮頸癌、子宮内膜癌等を治療する、請求項1～7のいずれか一項に記載のMAPの使用。

【請求項10】

前記組成物は、経口投与、舌下投与、灌流によって使用され、点眼薬、点鼻薬、口腔噴霧剤、体腔鏡、直接局所徐放製剤の形態で、または標的投与によって使用される、請求項1～9のいずれか一項に記載の使用。

【請求項11】

前記組成物は、薬物、化粧品、消毒用品、ヘルスケア用品、食品、または家庭用化学品である、請求項1～10のいずれか一項に記載のMAPの使用。